



毎月1回  
25日発行

# はしもと★ランド

第115号  
3月25日

http://hashimoto-land.com

はしもとランド

検索

発行・編集・印刷 ■橋本新聞販売株式会社 企画部 丸岡・高橋  
〒370-0063 高崎市飯玉町42 TEL.027-361-4950 FAX.027-361-5009 e-mail:takahashi@hashimoto-land.com



## ①高崎観音山 (見頃4月上旬~中旬)

高崎のシンボルともいえる観音像が建つ観音山丘陵には約3000本のさくらがあり、山桜、八重桜、染井吉野が次々開花して4月いっぱい花を楽しめる。高崎市街を見下ろす高台が淡いピンクに染まるのは圧巻。住所/高崎市石原町観音山 問/高崎観光協会 Tel.027-321-1257

## ③三ツ寺公園 (見頃4月上旬~中旬)

三ツ寺公園は新幹線のトンネルから湧き出す大量の水を利用した親水公園。1800㎡の池の周りの桜が水面に映えて美しい。白鳥のボートに乗れば、湖面からの花見もできる。ふわふわドームなどの大型遊具があり、子どもにも人気のスポット。住所/高崎市三ツ寺町 問/高崎観光協会 027-321-1257

## ⑤佐久発電所 (見頃4月上旬~中旬)

利根川を望む高台の斜面、佐久発電所内に樹齢70年の染井吉野が100本ほど咲く。北橋町のランドマークでもある、高さ80mのサージタンクのグレーとあいまって絶妙のコントラストをみせる。あまり知られていないが、花の時期は訪れる人も多い桜の名所。住所/渋川市北橋町真壁 問/渋川市北橋総合支所経済建設 0279-52-2111

## ⑦相馬ヶ原の桜並木 (見頃4月上旬~中旬)

陸上自衛隊第12旅団司令部・相馬ヶ原駐屯地では毎年桜の時期、一般の人たちに航空演習地区を開放しイベントを開催している。今年は4月14日(土)8時~15時。住所/北群馬郡榛東村大字新井 問/榛東村役場産業振興課 0279-54-2211

# 訪ねてみましょう! 高崎周辺の「さくら」の名所

今年の冬は記録的な寒さでいつにも増して春の到来が待ち遠しく感じました。さあ桜の季節です! ポカポカ陽気に誘われて、みんなでお花見に出かけましょう。

※見頃はあくまでも予想です。開花時期は電話にてご確認の上、お出かけ下さい。

## ②滝の慈眼寺 (見頃3月下旬~)

境内に約50本のしだれ桜が鐘楼に映えて美しい。中でも樹齢250年を超える「少将桜」が有名で古くからの伝説も残る。この時期、黄色のサンシュも咲く。住所/高崎市下滝町19 問/高崎観光協会 027-321-1257

## ④赤城南面千本桜 (見頃4月上旬~下旬)

標高430~550m、赤城山の南麓の市道に、樹齢約50年、約1000本の染井吉野が植えられており、満開時には見事な花のトンネルができる。住所/前橋市苗島町 問/(財)前橋観光コンベンション協会宮城支部 027-283-2131

## ⑥渋川市総合公園 (見頃4月上旬~下旬)

遠くに谷川連邦や赤城山を望む標高600メートル、総面積57haの広大な公園の中に3000本の桜(染井吉野1500本、蝦夷山桜1500本)が咲く。散策道や彫刻が整備され、お年寄りから子どもまで自然を満喫できる。夜景もすばらしい。住所/渋川市渋川(明保野地区) 問/渋川市都市計画課 0279-22-2111



## ⑧妙義さくらの里 (見頃4月中旬~5月上旬)

妙義山の南麓に広がる斜面一帯に45種5000本の桜が咲く。染井吉野が最も多いが、カンザン、フゲンソウなどの八重桜も多く4月中旬から5月中旬まで長い期間花を楽しめる。冬桜も有名。住所/甘楽郡下仁田町大字上小坂 問/下仁田町商工観光課 0274-82-2111

## ⑨大塩湖 (見頃4月上旬~中旬)

群馬サファリパークに隣接する人造湖。池の周りを一周する遊歩道沿いには約1000本の桜が咲き乱れ、桜を眺めながら池の周りの散歩を楽しむ人が多い。湖畔周囲約3.2キロ約一時間の散歩コース。住所/富岡市南後箇 問/富岡市観光課 0274-62-1511

## ⑩城下町小幡 (見頃4月上旬~中旬)

織田信長の次男、信雄から150年間織田氏の所領として栄えた小幡。昔ながらの家並みが残る雄川沿いの桜の美しさは有名。武者行列などが行われる桜祭りは4月8日(日)の予定。3月24日、大名庭園「国指定名勝楽山園」がオープンした。住所/甘楽郡甘楽町大字小幡 問/甘楽町振興課 0274-74-3131



寂寥とした桃井城址



発掘調査の進む城址

吉岡町にはかつて、元の豪族、南朝の武将・桃井直常(もものい・ただつね)が築いたと伝えられる桃井城があった。今はただの小高い丘にしか見えない。上ると笹がうっそうと茂り、そこを抜けると土塁跡があった。周りは畑になり、そばに浄水場もあった。建物の土台に使用されていたと思われ穴の開けられた石が露出して、

後醍醐天皇は和の南、吉野に逃れ自分こそ正統な天皇であると主張し、幕府と対立した。ここに約60年にわたり二つの朝廷が並立、日本が二分された南北朝時代が到来した。吉野の朝廷は京都の南にあることから南朝と呼ばれ、それに対し幕府の後ろ盾のある朝廷を北朝という。

鎌倉幕府を滅ぼし、天皇親政の理想に燃えた後醍醐天皇は新しい政治を実現させた。これを建武の新政という。しかし倒幕に協力した武士勢力は自分達の武家政権を望み、天皇に反旗を翻した。その中心者・足利尊氏は光明天皇を立て、征夷大将軍となり室町幕府を開いた。

桃井直常は足利尊氏と共に鎌倉幕府を滅亡させたが、後に尊氏と対立し南朝について尊氏方と戦うことになる。一時は尊氏を京から敗走させるなど勇猛果敢に戦ったが、1371年、力尽き幕府軍に敗れた。その後の消息は不明で、終焉の地についても判明していない。一説には桃井城に隠棲したとも言われる。吉岡町の南下田中には直常夫妻の供養塔がある。北朝と南朝の対立は長引き全国的な動乱が続いたが、1392年、三代将軍・足利義満の時代に統一された。

後醍醐天皇は大和の南、吉野に逃れ自分こそ正統な天皇であると主張し、幕府と対立した。ここに約60年にわたり二つの朝廷が並立、日本が二分された南北朝時代が到来した。吉野の朝廷は京都の南にあることから南朝と呼ばれ、それに対し幕府の後ろ盾のある朝廷を北朝という。

発掘調査をしているのだらう、作業箇所にはブルーシートが被せられていた。当時の生活を伝える文物など出土しているのだらうか。寂寥とした土塁跡の隅に一本の木があった。その横の説明版には「城跡は農地開放のため開発が進められ、殆ど原型を残していない」とある。少し切ない思いがした。歴史の風化を防ぐためにも何とか復元出来ないものだろうか。

## 上州をゆく

足利尊氏に對抗した南朝の英雄

ペンネーム 国定忠治(高崎在住)